

まい 埋やちよ

No. 35

千葉県八千代市

埋蔵文化財通信

2017.01.28

(平成 29 年)

八千代市制施行 50 周年記念号

—発掘された八千代市の遺跡—

はじめに

平成 29 年 1 月 1 日で八千代市は市制施行 50 周年を迎えました。八千代市の発展とともに多くの遺跡が調査されました。50 周年を記念して市内で発掘された主な遺跡を市の歩みとともに見ていきましょう。

1 昭和 40 年代

八千代市は昭和 42 年 1 月 1 日に市制が施行されました。43 年には京成勝田台駅が開業となり勝田台団地の入居が始まりました。村上団地建設の計画がされたのも 43 年でした。45 年には米本団地の入居が始まり、同年の国勢調査では県内トップの人口増加率を記録しました。47 年には高津団地の入居も始まりました。48 年には市民会館もオープンし、千葉県で国体（若潮国体）が開催され、八千代市は相撲の会場となりました。市制施行当初、4 万 1574 人であった人口も昭和 48 年には 10 万人を越すようになりました。

村上団地建設に伴い建設予定地に遺跡の存在が確認され、千葉県が中心になり発掘調査が行われることになりました。調査対象面積は約 1 万 4 千㎡で当時としては広大で千葉県の大規模調査のさきがけとなりました。46 年に村上名主山遺跡が、48 年には村上込の内遺跡などが調査されました。村上名主山遺跡では弥生時代の竪穴住居跡 1 軒、奈良平安時代の竪穴住居跡 6 軒などが発見され、村上込の内遺跡では弥生時代の竪穴住居跡 14 軒、奈良平安時代の竪穴住居跡 155 軒などが発見されました。

村上遺跡の調査によって現在の村上には奈良・平安時代の大集落があったことが明らかにされましたが、

「村上」という地名について興味深い事柄があります。平安時代に『和名類聚抄』という百科事典が作られました。その中の地名の項目に「下総国印幡郡村神郷」の語句が現れてきます。「神」と「上」の違いはありますが、同じムラカミの地に奈良・平安時代の集落が存在していたことから現在の八千代市村上は奈良・平安時代の「印幡郡村神郷」の一部であることが明らかになりました。

村上団地の調査で注目された出土品として墨書土器があります。墨書土器とは、墨で文字や記号が書かれた土器です。村上込の内遺跡では「毛」・「来」などの文字が書かれた墨書土器が多く出土しました。

千葉県が中心となった村上団地の調査が行われる一方、八千代市が中心となる調査も開始されました。昭和 48 年、八千代市保品に所在する少年自然の家建設に伴い発掘調査が行われました。弥生時代後期の竪穴住居跡 1 軒、古墳時代前期から中期の竪穴住居跡 6 軒を調査しました。また、敷地のはずれに古墳が存在していたこともわかりました。調査面積は 760 ㎡で、その後の発掘調査と比べると小規模ですが、八千代市が主体となった記念すべき調査と言えるでしょう。周辺の畑には現在でも遺物が散布しています。調査は建物部分に限られているので、少年自然の家のキャンプ広場の下には遺跡が残っているかもしれません。

2 昭和 50 年代

昭和 51 年、村上団地の入居が始まり、52 年には市制施行 10 周年を迎え、人口は約 11 万 9 千人となりました。55 年には市民体育館が完成し、59 年には福祉

センター、農業研修センターもオープンしました。

萱田の特定土地区画整理事業（現ゆりのき台）の事業認可が 55 年で、これに伴い多くの発掘調査が行われることになりました。

ゆりのき台の区画整理は事業面積が約 100 万㎡で、調査は、昭和 52 年から平成 3 年までの長期間にわたるものでした。調査は、(財)千葉県文化財センターによって行われました。遺跡は北から権現後遺跡・ヲサル山遺跡、谷津を挟み北海道遺跡・井戸向遺跡・坊山遺跡さらに谷津を挟み白幡前遺跡と南北に連続し、萱田遺跡群と総称されています。

ゆりのき台の調査では旧石器時代の調査も行われ、権現後遺跡やヲサル山遺跡では約 2 万 8 千年前の石器（石斧）が出土しています。八千代市最古の人間の生活の跡と言えるでしょう。縄文時代についてはその他の時代と比べやや密度は低くりますが、獣を捕獲するための落とし穴、屋外の調理施設と考えられる炉穴などが発見され縄文土器等が出土しました。弥生時代から古墳時代前期については北側の権現後・ヲサル山遺跡に集中する傾向があり両遺跡あわせて 107 軒の竪穴住居跡が発見されています。古墳時代中期・後期については権現後遺跡・井戸向遺跡に集中する傾向があります。奈良・平安時代になると竪穴住居数が爆発的に増加します。権現後遺跡では 68 軒、ゆりのき台の南側に位置する白幡前遺跡では 279 軒の竪穴住居跡が発見されています。ゆりのき台の奈良・平安時代は、白幡前遺跡（八千代中央駅南側一帯）に中心があったのかもしれませんが。中近世については、井戸向遺跡で墓穴と考えられる穴が発見されています。出土品については鏡、小刀などが出土しています。

ゆりのき台の調査でも多くの墨書土器が出土しましたが、中でも注目されたのが権現後遺跡から出土した墨書土器で、『下総国印播郡村神郷丈部国依甘魚』（しもふさのくにいんばぐんむらかみごう [地名]・はせつかべのくにより [人名]・あまな [御馳走の意]）と書かれていました。平安時代の「村神郷」の範囲は、村上団地の調査の頃、新川の東側、現在の村上地区周辺がその範囲と考えられていました。新川の西側のゆりのき台で、この墨書土器が出土したことをきっかけに平安時代の「村神郷」の範囲は今の八千代市一帯を含

むのではないかと考えられるようになりました。

その他、八千代市が主体となった調査として高津地区土地区画整理事業に伴う高津新山遺跡の確認調査、睦小学校の建替えに伴う桑納前畑遺跡の調査、市民会館前の都市計画道路建設に伴う池の台遺跡・川崎山遺跡の調査などがあります。

3 昭和60年から平成8年

昭和 61 年には東葉高速鉄道の市内工事が開始され、平成 8 年に開通となりました。62 年には、市制施行 20 周年を迎え、ゆりのき台の入居も開始され、人口は約 14 万人となりました。勝田台市民プラザは 62 年に、八千代台東南公共センターは平成元年にオープンしました。5 年には歴史民俗資料館（現郷土博物館）がオープンし、8 年には文化伝承館がオープンしました。

6 年には村上の辺田前土地区画整理組合が許可されました。この時期は、多くの区画整理事業や民間の宅地造成などの開発に伴い多くの大規模調査が行われました。

昭和 61 年には西八千代東部区画整理事業（現緑が丘地区周辺）に伴う調査で、八千代市が主体となり仲ノ台遺跡・ライノ作遺跡・ライノ作南遺跡・大和田新田芝山遺跡・八幡藪遺跡の調査を行いました。ライノ作南遺跡では縄文時代の竪穴住居跡 24 軒、獣を捕獲するための落とし穴 17 基などが発見されました。

また、昭和 63 年には、保品地区で民間開発による大規模開発に伴い栗谷遺跡・上谷遺跡・向境遺跡・境堀遺跡などの調査が開始されました。栗谷遺跡では弥生時代後期の竪穴住居跡が 92 軒発見され、印旛沼南岸域最大の弥生集落となりました。また、上谷遺跡では奈良・平安時代の竪穴住居跡 203 軒、コの字状に並ぶ掘立柱建物跡 194 棟が発見されました。上谷遺跡でも多量の墨書土器が出土し、中でも地名・人名・年号などが記された多文字の墨書土器が注目されました。向境遺跡では奈良・平安時代の竪穴住居跡 62 軒などが発見され「寺」・「三宝」など仏教に関連する墨書土器や鍛冶作業に使われるフイゴの羽口や鉄滓と呼ばれる鍛冶作業に伴い生じる鉄くずが出土しました。保品地区の調査も平成 10 年まで続く大規模な調査でした。

平成 2 年から平成 4 年にかけて、郷土博物館建設に

八千代市50年のあゆみと発掘調査

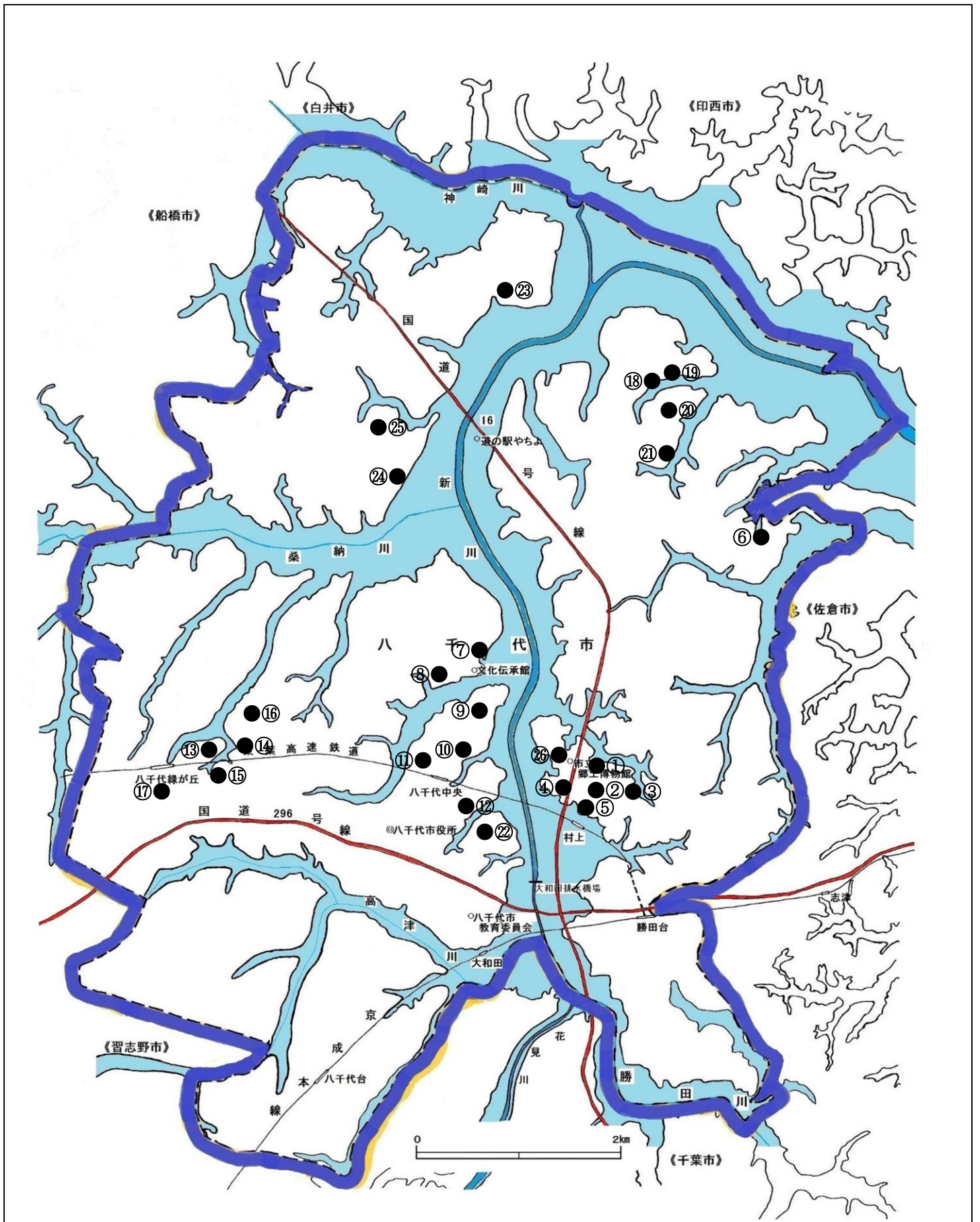
昭和編

昭和	八千代市の主な出来事			主な発掘調査
42年	1月1日市制施行 (常住人口4万1574人) 初代市長 兼子通純 就任 初めての市議選(定数26)			
43年	スクールバス「やちよ号」運行開始		京成電鉄勝田台駅開業 勝田台団地入居開始 国道16号(米本から島田 開通) 印旛沼開発工事が完成	
44年	八千代市社会福祉協議会が法人格 を取得	市役所庁舎(旧館)完成 清掃工場(現清掃セン ター)オープン		
45年	国政調査で県内トップの人口増加率 広報やちよ月2回の発行新聞折り込 み開始		米本団地入居開始 成田街道が国道296号へ 国道16号(米本から辺田 前 開通)	
46年	第2代市長 仲村和平 就任 市の木「ツツジ」に決定 八千代市文化財保護条例制定		京成電鉄勝田台駅北口 開設 八千代台地下道完成	★村上名主山遺跡(村上・村上団地 造成)の調査
47年	都市交通審議会が東西線の延伸を 答申	水道庁舎・いこいの家 オープン	高津団地入居開始	・ 神野芝山古墳群(神野)の調査
48年	住民登録人口10万人を超す	市民会館オープン	若潮国体(相撲競技)開 催	★村上込の内遺跡(村上・村上団地 造成)の調査開始 ★おおびた遺跡(保品・少年自然の 家建設)の調査 ★桑納2号墳(桑納)の調査
49年	第1次総合計画策定「調和のとれた 健康都市」	少年自然の家オープン		・ 佐山貝塚(佐山)の確認調査
50年	佐倉市志津地区の一部が編入 国勢調査で人口10万人以上の市で 全国一の人口増加率			・ 村上古墳群(村上・道路建設)の調 査
51年	八千代台西市民の森オープン		村上団地入居開始	
52年	市制施行10周年 (常住人口11万9149人) 「やちよふるさと音頭」発表			★権現後遺跡(萱田・ゆりのき台造 成)の調査開始 ★桑納前畑遺跡(睦・睦小学校建替 え)の調査
53年	八千代台北市民の森オープン			
54年	北千葉広域水道企業団より受水開 始			★北海道遺跡・白幡前遺跡他(萱田・ ゆりのき台造成)の調査開始 ★川崎山遺跡a地点・池の台遺跡a地 点(萱田町・都市計画道路3・4・1号 線)の調査 ・ 阿蘇中学校東側遺跡(米本)の調 査
55年	休日夜間救急センターの365日夜 間診療開始	市民体育館完成	萱田特定土地区画整理 の事業認可 八千代警察開署	
56年	安全センター開設	村上橋開通(ブロンズ像 「太陽」・「緑」設置)		・ 高津新山遺跡(高津・土地区画整 理)の確認調査開始
57年	夜間救急センターを「急病センター」 に改称			
58年	八千代台東子供の森オープン	市民プール完成		・ 渋内遺跡(吉橋)の調査
59年	第1回やちよ青少年少女洋上教室開 催	福祉センター、農業研修 センターオープン 親子橋(新川大橋、なか よし橋)開通		・ 正覚院館跡(村上)の調査
60年	第2次総合計画策定「調和のとれた 人間都市」 緑の都市宣言 平和都市宣言	保健センターオープン		・ 池の台遺跡(萱田・都市計画道路 3・3・7号線)の調査
61年	ガキ大将の森オープン 飯網近隣公園・萱田近隣公園オー プン	ガキ大将の森オープン	東葉高速鉄道市内工事 に着手	★仲ノ台遺跡・ライノ作遺跡・ライノ作 南遺跡他(緑が丘・西八千代東部 区画整理・東葉高速鉄道建設)の 調査開始
62年	市制施行20周年 (常住人口14万2915人)	勝田台市民文化プラザ オープン	ゆりのき台団地入居開始	★栗谷遺跡(保品・もえぎ野造成)の 調査開始
63年	黒沢池市民の森オープン		八千代国際大学開校 (現秀明大学)	

★印は出土品を展示している遺跡です

平成編

平成	八千代市の主な出来事			主な発掘調査
元年	隔週土曜閉庁スタート	八千代台東南公共センター完成	文化振興財団設立	
2年	学校開放図書館オープン			★向境遺跡(神野・もえぎ野造成)の調査開始 ★殿内遺跡(村上・郷土博物館建設)の調査開始
3年	登録人口15万人を超す			
4年	市制施行25周年 シンボルソング「いつまでも」発表 米国タイラー市と姉妹都市提携		八千代商工会議所設立	★上谷遺跡・境堀遺跡(神野・保品・もえぎ野造成)の調査開始
5年	下水道の普及率が県下1位に	歴史民俗資料館(現、郷土博物館)オープン ふれあいプラザ、ゆらゆら橋完成	東京成徳大学開校	・沖塚遺跡(村上・辺田前土地区画整理事業)の調査開始
6年	萱田給水場の供用開始		辺田前土地区画整理組合認可 (株)ケーブルネットワーク やちよ(現(株)ジェイコム千葉)開局	★川崎山遺跡c地点(萱田町)の調査 ★浅間内遺跡・白筋遺跡(村上・辺田前土地区画整理事業)の調査開始
7年	第3代市長 大澤一治 就任			★権現後遺跡(萱田・文化伝承館建設)の調査 ・平沢遺跡(上高野・都市計画道路3・4・9号線)の調査・おおびた遺跡(保品・少年自然の家増築)の調査
8年	第28回アジアウエイトリフティング選手権大会開催	文化伝承館オープン	東葉高速鉄道開通 ハミングロード開通	・上ノ山遺跡c地点(萱田町)の調査
9年	市制施行30周年 (常住人口15万9113人) シンボルマーク制定 市の花「バラ」指定 市のホームページ開設	勝田台ステーションギャラリー完成 ふるさとステーション(道の駅やちよ)完成	勝田台駅南北地下通路開通 新町名「緑が丘」誕生	・新林遺跡c地点(上高野)の調査
10年	市民憲章制定 第3次基本構想策定			・川崎山遺跡f地点(萱田町)の調査
11年	健康都市宣言 第3次総合計画策定「ひとりひとりが幸せを実感できる生活都市」			★平戸台2号墳(平戸台)の調査 ・西内野遺跡(吉橋)の調査
12年	指定ゴミ袋制度スタート			・新林遺跡(上高野)の確認調査
13年	こども憲章制定 新川千本桜植栽事業 桜の里親募集開始		上高野第1土地区画整理組合認可	・新林遺跡d地点(上高野・土地区画整理)の調査
14年		市民活動サポートセンターオープン		・作山遺跡(小池)の調査
15年	第4代市長 豊田俊郎 就任			・島田込の内遺跡(島田)の調査
16年	新川千本桜植栽事業完了	緑が丘プラザオープン		・妙見前遺跡b地点(吉橋)の調査
17年	2005千葉きらめき総体(ウエイトリフティング・女子バスケット)開催			・川崎山遺跡k地点(萱田町)の調査
18年	市税コンビニ納付開始		東京女子医科大学 八千代医療センター開業	・妙見前遺跡b地点(吉橋)の調査
19年	市制施行40周年 (常住人口18万6140人)	総合生涯学習プラザオープン		・内野南遺跡d地点(吉橋)の調査
20年	登録人口19万人を超す			・平戸台8号墳(平戸台)の調査
21年	市民活動団体支援金交付制度「1%支援制度」スタート			★桑納前畑遺跡b地点(桑納)の調査
22年	ゆめ半島千葉国体(ウエイトリフティング・女子バスケット)開催			・平沢遺跡b地点(上高野)の調査
23年	市議会インターネット中継開始		はぐみの杜(西八千代北部) まちびらき	・小板橋遺跡d地点(大和田)・ヲサル山南遺跡c地点(大和田新田)調査
24年	市制施行45周年 イメージキャラクター「やっち」誕生	上高野多目的グラウンドオープン		・庚塚第1塚群(大和田新田)の調査
25年	第5代市長 秋葉就一 就任	学校給食センター西八千代調理場・やちよ農業交流センターオープン 勝田台中央公園 リニューアルオープン		・堰場台遺跡(大和田)・白幡前遺跡d地点(萱田)・内込遺跡c地点(八千代台)の調査
26年	黒沢池近隣公園オープン	総合グラウンドオープン		・高津新田野馬堀遺跡(八千代台)・白幡前遺跡e地点(萱田)の調査
27年	Web口座振替受付サービス開始	中央図書館・市民ギャラリーオープン		・平沢遺跡e地点(上高野)・逆水遺跡(米本)の調査
28年	八千代市制施行50周年記念事業開始			八千代市制50周年記念事業「出土文化財展示会」開催
29年	八千代市制施行50周年			



展示遺跡分布図

- ①村上名主山遺跡 ②村上込の内遺跡 ③村上1号墳 ④浅間内遺跡 ⑤白筋遺跡 ⑥おおびた遺跡
- ⑦権現後遺跡 ⑧ヲサル山遺跡 ⑨北海道遺跡 ⑩井戸向遺跡 ⑪坊山遺跡 ⑫白幡前遺跡 ⑬仲ノ台遺跡
- ⑭ヲイノ作遺跡 ⑮ヲイノ作南遺跡 ⑯大和田新田芝山遺跡 ⑰八幡藪遺跡 ⑱向境遺跡 ⑲境堀遺跡
- ⑳栗谷遺跡 ㉑上谷遺跡 ㉒川崎山遺跡 ㉓平戸台2号墳 ㉔桑納2号墳 ㉕桑納前畑遺跡 ㉖殿内遺跡

に伴い殿内遺跡の調査が行われました。古墳時代の竪穴住居 1 軒、奈良平安時代の竪穴住居跡 36 軒などが発見されました。平成 5 年には辺田前土地区画整理事業に伴い沖塚遺跡の調査が開始され、平成 6 年には浅間内遺跡の調査が行われ、奈良・平安時代の竪穴住居跡 64 軒などが発見されました。同じく平成 6 年に萱田町では民間開発に伴い川崎山遺跡 c 地点の調査が行われ、古墳時代の竪穴住居跡 27 軒などが発見されました。

平成 7 年には上高野地区を走る都市計画道路建設に伴い平沢遺跡の調査で弥生時代の竪穴住居跡 10 軒などが発見されました。

4 平成 9 年から平成 18 年

平成 9 年には市制施行 30 周年を迎え、人口は 15 万人を越えました。「ばら」が市の花に指定され、市のホームページも開設されました。西八千代東部の区画整理も一段落し、新町名「緑が丘」が誕生しました。勝田台ステーションギャラリーやふるさとステーション（道の駅）がオープンしたのも 9 年です。14 年には市民活動サポートセンター、16 年には図書館・公民館の複合施設である緑が丘プラザがオープンし、18 年には東京女子医大八千代医療センターが開業しました。

13 年には上高野第 1 土地区画整理事業の組合認可がされ、また、新たな調査が開始されることになりました。この時期あたりから大規模開発が少なくなり、小規模開発に伴う調査が多くなります。

上高野の土地区画整理事業地内に、新林遺跡 d 地点が所在し、13 年に調査を行いました。縄文時代前期の竪穴住居跡 11 軒などが発見されました。

14 年には萱田町で区画整理事業に伴い川崎山遺跡 d 地点の調査が行われ、古墳時代の竪穴住居跡 19 軒などが発見されました。川崎山遺跡は、その後小規模開発に伴う調査が多く実施され、28 年までに 19 地点の調査がされました。

その他、小規模開発に伴う調査として、11 年には平戸の古墳（平戸台 2 号墳）の調査が行われ、石棺の中から人骨や鉄剣などが出土しました。12 年には上高野でマンション建設に伴い、新林 c 地点の調査が行われ、縄文時代中期の竪穴住居跡 1 軒などが発見されました。14 年には小池で作山遺跡の調査を実施し、中世の火葬

墓などが発見されました。18 年には吉橋で妙見前遺跡の調査を実施しました。

5 平成 19 年から 28 年

平成 19 年、八千代市は市制施行 40 周年を迎え、人口は約 18 万 6 千人となり 20 年には 19 万人を越えました。19 年には総合生涯学習プラザがオープンし、22 年にはゆめ半島千葉国体が開催され八千代市はウエイトリフティングの会場となりました。24 年には上高野に多目的グラウンドがオープンし、市のイメージキャラクター「やっち」が誕生しました。25 年には学校給食センター西八千代調理場、やちよ農業交流センターのオープン、勝田台中央公園のリニューアルがされました。26 年には黒沢池近隣公園、新川沿いに総合グラウンドがオープンし、27 年には市民ギャラリー、中央図書館がオープンしました。

この時期になると大規模な開発事業は減少し、小規模な開発が主となり、それに伴い発掘調査も小規模なものが増えました。

19 年には吉橋で内野南遺跡 d 地点の調査を行い縄文時代前期の竪穴住居跡 8 軒などが発見されました。20 年には平戸で平戸台 8 号墳、21 年には桑納で桑納前畑遺跡、23 年には大和田で小板橋遺跡、27 年には上高野で平沢遺跡 e 地点の調査を行いました。

終わりに

八千代市 50 年の歴史と発掘された遺跡のことを振り返ってみました。紹介できた遺跡はごく一部です。今後も八千代市の歩みとともに発掘調査は引き続き行われていくことでしょう。次世代に引き継がれる文化遺産がまた新たに発見されるかもしれません。

埋（まい）やちよ No.35
—千葉県八千代市埋蔵文化財通信—
平成 29 年 1 月 28 日
編集・発行 八千代市教育委員会
教育総務課 文化財班
八千代市大和田 138-2
☎276-0045
☎047(481)0304